

ことばの学校だより

Vol.3 * 11月発行

★11月の新刊★

- ・いま、会いに行きます
- ・ハ犬伝
- ・吉田松陰
- ・ウィーターボーイズ
- ・バッテリーIV
- ・ダレン・シャンV-バンパイアの試練

9・10月中一番読まれた本は
小学生…ダレン・シャンⅢ
若おかみは小学生！4
中学生…バッテリーI
高校生以上…1リットルの涙でした！

筋肉に負荷をかけ運動させることにより、よりたくましい筋肉へと発達していきます。同様に脳の発達にも負荷をかけて鍛えることが重要です。筋肉への鍛錬は目に見えるものなので、その練習過程や効果を知ることができますが、脳の場合それが見えない分厄介といえます。その点、ことばの学校の高速リスニングは目に見える脳の鍛錬といえます。また、国語が不得意な生徒の多くは本を音読することが苦手です。目から脳、脳から口への伝達・命令回路がうまく機能しないのでしょうか。

突然ですがここで11月・12月の「ことばの学校」目標を大決定！

★「心地よい速度+0.5倍速」に挑戦！！★

ことばの学校に来ていただいている皆さんには、それがたとえ1倍速での読書であっても日常生活に比べ脳への負荷がかかっています。何回か通ってみて高速リスニングに少し慣れたかな？という方には、それぞれ「心地よい速度」というものが分かってきたかと思います。心地よい速度での読書を楽しんでもらうのも大事なことです。さらに負荷を加え、脳を鍛えるためには心地よい速度+0.5倍速での読書が必要です。是非チャレンジして、脳の中のいろんな回路を刺激してみてください！p(^_^)q

ここで最近あった嬉しい出来事をひとつ。ことばの学校に通ってくれている中2の女の子のお母さんが、学校の定期テストの結果を「国語の点数が今までも見たことのない高得点でした！」と大喜びで報告してくださいました。彼女はもともと英語が得意でテストでも上位をとっていたのですが、国語だけがいまひとつ伸びず、どうしたらいいのか悩んでいたそうです。

彼女は現在7.5倍速で読書を楽しんでくれているのですが、彼女の読書の仕方には次の特徴があります。

- ・ジャンルを問わず文字通り本棚の端から端までの本を読むこと
- ・自分にとって合わない本であっても、読み始めたら必ず最後まで読みきること

読んでいて、難しい、つまらない、と感じた時にその本を読み続けることはつらいことですよね。しかし、途中で本を変えず読みきることによって脳へは高速リスニングによるもの以外にも負荷がかかり、結果的にそれが脳を大変効果的に鍛えることへと繋がります。つまり、一緒に忍耐力も育てているのです！

高3生を中心に取り組んでくれている英語のセンター対策。今ある冊子分はそろそろ一周した頃でしょうか？一度やった問題を改めてやることにより、今までのリスニングをしっかりと自分のものにできているかが分かります。新しい教材も順次入力予定ですが、繰り返し同じ問題を聞き込むことも重要です。そして2.0倍速から2.5倍速でも聞き取れるように訓練しましょう。英語のリスニングだけでなく、日本語での読書も忘れずにね。